

令和2年度 1学期前半の学習から

令和2年7月
ゆり支援学校道川分教室

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校は4月6日～15日、4月21日～5月8日が臨時休業となりました。在校生は4月に3日間だけ学習ができましたが、3月に中学部を卒業し4月に高等部に入学した3名は特に「長い春休み」となっていました。

そんな中でしたが、4月22日（水）に感染防止対策を講じた上で、入学式を行いました。病棟ごとに、少ない学校職員と入学生のみで行いました。久しぶりの学校でしたが、3名の入学生は入学式ということで普段とは違う装いで参加し、式の中でもはりきって返事をすることができました。

学校を再開した5月11日からは、6名は体調も大きく崩すことなく欠席もほとんどありません。学習の中では表情で感情を表したり自らの体の動きで意思を示したりと、意欲的に学習に向かう姿が見られています。天気の良い日は病院の外に出て太陽の光を浴び、おいしい空気を存分に吸うこともできるようになりました。

今年は感染防止対策のため校外学習で遠出することやボランティアの方々との触れ合いはまだできません。その分日頃の学習で様々な経験を重ね、豊かな学びを丁寧に見取り、重ねていきたいと思っています。

* * * * *

道川分教室では、あきた病院の対応方針に沿って感染症拡大防止の方策をとりながら学習を進めています。

〈 日々の主な取組 〉

- ・ 職員の体調管理（毎朝の健康観察・検温）の徹底、病院への報告
- ・ 職員のマスク、手洗い、消毒（手指・使用物品）の確実な実行
- ・ 基本的に担任が個別対応することで、多くの人と直接触れ合うことの抑制
- ・ タブレット端末の使用や教材の工夫による他の人と関わる機会の設定
- ・ 「密」を避ける学習環境、広い場所を分割使用する場合の透明シート設置等、学習環境の工夫



ひとみキラキラ、いのちかがやく道川
～こんな学習に取り組んでいます～



▲タブレットを触って楽しむアプリを使い、感じた気持ちを表情で表すことをねらっています。ユーモラスな動きと音が好きで、笑顔いっぱい！



▲右手で棒状のスイッチに触れると、頭上のイルミネーションが光ります。何度も自分で右手を動かしてつけ、じっくりと光を見つめました。



▲自分で線を書き、更に水滴の上に乗せた紙を引っ張りました。インクの線がにじむのを見てその変化を楽しむことをねらいとしています。



▲左腕を動かすことをねらって、キャッチボールをしています。ボールを投げる場所や距離感もばっちりです。



▲自分で筋緊張を緩めてから、肘を曲げて紐を引くことを頑張っています。掛け声に合わせて楽しみながら引っ張っています。



▲右腕や首の身体機能の維持をねらい、歌に合わせて、かたつむりを右腕で引っ張って動かす活動に取り組みました。「よいしょ！」と気合いが入ります。